

「冬の信州省エネ大作戦・2016」(案)について

今冬においても長野県独自の数値目標を掲げた県民運動「信州省エネ大作戦」を展開し、県民総ぐるみでの節電・省エネルギーの取組を推進します。

1 今冬の電力需給の見通し ⇒ 全エリアで電力の安定供給に最低限必要とされる予備率3%以上を確保できる見通し

<平成28年12月の電力需給見通し>

(単位:万kW)

項目	東日本3社	北海道	東北	東京	中部及び西日本	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	9電力
最大電力需要	6,562	521	1,358	4,683	8,161	2,305	2,509	495	1,006	491	1,355	14,723
供給力	7,408	604	1,454	5,350	8,906	2,376	2,720	536	1,179	537	1,558	16,314
供給-需要	846	83	96	667	745	71	211	41	173	46	203	1,591
(予備率)	12.9%	16.0%	7.1%	14.2%	9.1%	3.1%	8.4%	8.3%	17.2%	9.3%	15.0%	10.8%

<平成29年1月の電力需給見通し>

(単位:万kW)

項目	東日本3社	北海道	東北	東京	中部及び西日本	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	9電力
最大電力需要	6,952	521	1,402	5,029	8,497	2,381	2,574	515	1,057	491	1,479	15,449
供給力	7,470	606	1,515	5,350	8,215	2,456	2,813	569	1,225	542	1,610	16,686
供給-需要	518	85	113	321	718	75	239	54	168	51	131	1,237
(予備率)	7.5%	16.2%	8.0%	6.4%	8.5%	3.1%	9.3%	10.5%	15.9%	10.4%	8.9%	8.0%

※平成23年度並みの厳寒を想定し、直近の経済見通し、平成27年度冬季の節電実績を踏まえた定着節電を織り込み。

2 長野県の節電・省エネ目標 ⇒ 昨年冬季目標を据え置き

最大電力 ▲5.0% (H22年度比) 県機関:最大電力 ▲10%(H22年度比)

国からは数値目標の設定はないが、長野県独自の数値目標を設定し、数値目標の達成に向けた前向きな取組を推進する。

3 取組期間 平成28年12月1日(木) ~ 平成29年3月31日(金)

4 取組方針

- (1)県民生活や経済活動に影響を及ぼさない、無理のない範囲での県民運動の展開
- (2)ピーク時間帯における最大電力の抑制を中心に呼び掛け
- (3)未来志向型のライフ・ビジネススタイルへの転換につながる、前向きな節電・省エネ対策
- (4)経費の削減や地域経済の活性化、生活の質の向上に資するよう配慮
- (5)市町村、経済団体、消費者団体、マスコミ等、県内関係機関との連携・協働
- (6)カット(減らす)・シフト(ずらす)・チェンジ(切り替える)の推進

5 主な取組内容

取組	取組概要
広報活動の強化	◎今夏に設立した「信州省エネ大作戦実行委員会」を通じて、本取組に関する特集記事や放送などにより、広報活動を強化する。
節電・省エネアクションメニューによる取組 (家庭・事業者・県機関)	◎カーテンの付け替えやリフォームによる住宅の断熱性能の向上を特にPRする。 ◎意識して取り組む必要のある省エネ、節電行動を特にPRする。 (エアコンフィルターの清掃、テレビの省エネモードなど) ・無料の省エネアドバイス・省エネ診断の利用を通じて、省エネ家電への買い替えを促進する。 ・適正暖房の徹底とそれにふさわしい服装や身体を暖める工夫といったWARMBIZスタイルの推進する。 ・事業活動温暖化対策計画書提出事業者(284者)をはじめとする県内事業者に対して、天気予報等に基づく電力ピーク抑制に繋がる情報を配信し、ピークの抑制を促す。
信州あったかシェア事業	・ピーク時間帯を中心に、家庭の暖房器具を止めて、暖かく楽しく過ごせる場所や行事等への外出を促進。併せてあったかシェアスポットシールラリーを実施し、シールを3枚集めて応募していただいた人の中から、抽選で素敵な景品をプレゼントする。 → 楽しく、快適にあったかシェアを体感し、電力需要の削減と、地域経済の活性化を図る ・「おいしい信州ふード(風土)」の信州ふードレシピの中から、特に体の温まる料理やレシピを「信州あったか料理」として紹介する。また、信州あったかシェアスポット登録者からも同様の料理・メニューを募集し、広く紹介を行う。
長野県職員率先実行計画等に基づく県機関の取組	◎電力ピーク抑制情報に基づき、大規模電力消費施設の電力ピーク対策を実施する(県庁、10合同庁舎及び下水道処理施設等)。 ・暖房の適正運転(室温19℃)の徹底とスマートオフィスの推進を図る。ほか
その他	◎最大電力需要の公表値は、再エネによる発電想定値を加えたもので、実績と大きくかい離している恐れがあることから、(株)中部電力にご協力いただき、期間終了後確定値を公表する予定。

◎は、取組の中でも特に強化して実施するもの

(参考) 長野県環境エネルギー戦略に掲げる数値目標との関係

指標名	基準値 2010年度 (H22年度)	区分	目標(2010(H22)年度比)											
			2011年度 (H23年度)	2012年度 (H24年度)	2013年度 (H25年度)	2014年度 (H26年度)	2015年度 (H27年度)	2016年度 (H28年度)	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)	2020年度 (H32年度)		
最大電力	297万kW	戦略の目標	▲ 3.5%	▲ 5.0%	▲ 6.0%	▲ 7.0%	▲ 9.0%	▲ 10.0%	▲ 11.0%	▲ 12.0%	▲ 14.0%	▲ 15.0%		
		省エネ大作戦	夏	目標	▲ 5.0%	▲ 5.0%	▲ 6.0%	▲ 7.0%	▲ 9.0%	▲ 10.0%	-	-	-	-
			実績	▲ 7.7%	▲ 10.1%	▲ 10.4%	▲ 12.9%	▲ 12%	▲ 11.2%	-	-	-	-	
		冬	目標	-	▲ 3.0%	▲ 5.0%	▲ 5.0%	▲ 5.0%	▲ 5.0%	▲ 5.0%	-	-	-	-
実績	▲ 3.5%		▲ 7.2%	▲ 0.5%	▲ 1.2	5.7%	-	-	-	-	-			

※夏の省エネ大作戦の基準値は、293万kWである。